

2025年5月15日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン
(コード番号 6740 東証プライム)
問合せ先 執行役員 CFO 平林 健
(TEL. 03-6732-8100)

**営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上並びに
連結業績予想と実績の差異のお知らせ**

2025年3月期第4四半期連結会計期間（以下「当第4四半期」といいます。）において、営業外収益（為替差益）、営業外費用（支払利息）及び特別損失（減損損失及び事業構造改善費用）を計上いたしましたのでお知らせいたします

また、2025年2月12日に発表いたしました2025年3月期通期連結業績予想と、本日発表の実績に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

1. 営業外収益、営業外費用及び特別損失の計上

(1) 営業外収益（為替差益）の計上

為替相場の変動により、当第4四半期の連結決算において、為替差益200百万円を営業外収益に計上いたしました。これにより、2025年3月期の為替差益の累計は、連結決算において1,027百万円となりました。本為替差益は、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済及び期末為替レートによる換算替えで発生したものです。

(2) 営業外費用（支払利息）の計上

短期借入金の調達等に伴い、当第4四半期の連結決算において、1,398百万円の支払利息を営業外費用に計上いたしました。これにより、2025年3月期の支払利息の累計は、連結決算において4,409百万円となりました。

(3) 特別損失（減損損失）の計上

2025年2月に当社鳥取工場での生産を終了したことに伴う減損処理等により、当第4四半期の連結決算において、664百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。これにより、2025年3月期の減損損失の累計は、連結決算において21,563百万円となりました。

(4) 特別損失（事業構造改善費用）の計上

当社茂原工場の2026年3月までの生産終了に伴い発生が見込まれる費用及び損失に加え、2025年3月に当社鳥取工場での生産を終了したことに関連する費用及び損失を、当第4四半期の連結決算及び個別決算において、事業構造改善費用として14,288百万円特別損失に計上いたしました。これによ

り、2025年3月期の事業構造改善費用の累計は、連結決算及び個別決算において16,693百万円となりました。

2. 2025年3月期通期連結業績予想と実績の差異

(1) 通期（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	180,000	△26,400	△31,700	△36,800	△62,068	△10.03
実績値 (B)	188,012	△33,048	△37,068	△40,415	△78,220	△12.64
増減額 (B-A)	+8,012	-6,648	-5,368	-3,615	-16,152	
増減率 (%)	+4.5%	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	239,153	△28,221	△34,145	△33,188	△44,313	△7.16

(2) 差異の理由

売上高は、車載用ディスプレイの販売増加により前回発表予想を上回りました。一方で、EBITDA及び営業利益は、茂原工場の生産終了決定に伴う生産計画の見直しによる在庫評価の調整の結果、予想を下回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益も、上記の理由に加えて、茂原工場の生産終了決定に伴う事業構造改善費用の計上等により、予想を下回りました。

2025年3月期通期連結業績の詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上